

くらす

a classy life in the town

第14号

No.14 Winter 2013/01

和のテイストにあふれた、潮風を感じるすまい。





「子ども達の笑顔とともに、家も育てたいですね」

横須賀市鴨居 S様邸（4人家族・築約4年）

「土間のある、古民家風の家に住みたかった！」というS様夫妻は念願が叶って、ふんだんに使った木と、昭和初期の佇まいを彷彿させる引き戸、大きな開口部が印象的な家に暮らしています。

風情ある玄関引き戸を開けると、約6畳もの土間のあるホールに誰もが驚かされます。家の顔でもある玄関の広い空間は、来訪者を優しく包み込みます。

存在感のある太い大黒柱、杉のムク板を貼った床からは、心地良い木の香りが約4年を経た今も漂っています。杉材の床は「柔らかく冬は温かで、夏はさっぱりとした感触」が楽しめるのでS様。壁には自然素材の珪藻土を使い、健康にも配慮しました。

玄関を入れてすぐ左手は二間続きの和室で、将来、両親との同居を考えているとのこと。ベンガラ色の襖戸は昔の職人技を見せ、日本人の心意気を感じます。

自転車乗りを庭でマスターしたという4歳になる双子の子ども達も、この家が大好き。おもちゃ遊びで傷つけてしまった床も「家族の歴史、生きている証だから」と微笑むS様です。

オール電化を取り入れ、対面式キッチンでお茶を入れてくださる奥様は、手作

り派。リビングの小窓は和紙でカーテンを作り、インテリアを統一しています。広いLDKで「それぞれが好きなように過ごしたい」と、リビングにはミシンを置くスペースも作りました。奥様が作業する中、オモチャで遊んだりドリルをする子ども達の元気な声が飛び交い、明るく伸びやかに育っています。キッチンには小さな土間をつけたことも「とっても便利」とお気に入りです。

また、家族の笑顔がそろう長方形の食卓、ベンチ、テレビ台は大工さんの手作りだそう。大工さんも労を惜しまず、心を込めました。

S様邸には一階テラスと二階バルコニー、多目的に過ごせる二つのアウトドア空間があります。東京湾の眺望が素晴らしい二階は「どの部屋も通らずに、バルコニーへ出られるようにしたかった」というS様の要望が実現。変化に富んだ家のデザイン、間取りもS様のこだわりを優先しました。

奥様の「父の実家が平屋建ての古民家で落ち着く家でしたので、子どもの頃から憧れてました。この家は手入れも楽で、大満足しています」と話す笑顔が素敵でした。

（取材・撮影…2012年11月）

Check! 齋藤工務店

齋藤工務店の手がける住まいには、ご家族が快適に、そして安全に暮らしていけるよう、厳選された各種材料に加えてさまざまな技術が隠されています。さあ、一緒にチェックしてみましょう!

長持ちする住宅を建てるために

齋藤工務店の木材は紀州(和歌山県南部)で育ったものを使用しています。植林してから成木となるまで約60年もの間、職人さんが雑草を刈り、間引き(除伐・間伐)を定期的に行い、伐採を行います。その後、切った木は運び、選別され、やがて皆様のお家へと姿を変えるのです。

文字にするとわずかに数十文字でお家になりますが、実際はものすごく大変なんですよ。

良い木材には 職人の魂が詰まっています

横須賀にはたくさんの木が育っています。本来であれば地産地消の観点から、木材として使うことが望ましいのですが、残念ながら使う事ができません。なぜか? それは職人さんが育てた木ではないからです。木は手をかければかけるほど、強くてしっかりとした木材になります。雑草を刈ることも間引きをすることも、木材として信頼できる強さ(性能)を引き出すためなのです。

「長持ちする住宅はよい材料選びから」…この言葉を私たちの基本的な考え方のひとつとして、齋藤工務店では皆様のお家をつくらせていただいています。

今年の春、紀州で杉と檜の植林に行ってきました。60年後にこの木を使ったお家がつくられることを想像すると、とても楽しみです!



こちらの記事のさらに詳しい情報は、弊社までお電話、メールにてお気軽にお問い合わせください。



C



B



E



D



G



F

A: 引戸で構成されたダイニングまわり
B: 和の意匠を取り入れたモダンな洗面台
C: 木の香りに包まれる明るい玄関ロビー
D: 柔らかな雰囲気の木と珪藻土の階段
E: つねに笑顔の絶えないS様ご一家
F: 暖かな陰影が美しい、年代物の引戸
G: 安心感を醸し出す天井の太い梁
H: 夕暮れ時、灯りが映える黒壁の外観



H

くらす なかま

会報誌「くらす」を発行している株式会社齋藤工務店。そこで働く方々を「くらすなかま」として編集部がご紹介していきます。

——まずは株式会社齋藤工務店 代表取締役社長 西山茂雄氏にご登場いただきます。西山さん、今回「くらす」の誌面がリニューアルされて、初めて手に取るお客様に対して、この会報誌の位置づけなどをお聞かせいただけますか？



西山 はい。この会報誌「くらす」では、弊社の住まいづくりの取り組みや、一緒に働く社員、大工さん、職方さんなど、「くらすなかま」の

紹介をしていきます。また、これから家を建てようと考えている方がどのように工務店を選んでいらっしゃるのか？ 私どもでは「齋藤工務店の家って、いいんじゃない？」と思っていただけのひとつのよりどころとして、実際にお客様が暮らしている家を、そのままの姿でご覧いただくように思っています。そのため、こういった会報誌のスタイルを少し変えていくことにしました。

——なるほど。物言わぬ紙の会報誌が、リアルな写真や、働く人々の言葉を入れ込むことで、お客様に語りかけてくれるということですね。

西山 ええ。もちろんそれだけでは、住まい選びの決め手にはなりません。でもやはり皆さん「あの家の人はどんな暮らし方をしているんだろう？」って思うことが多いですね。

——そうですね。上がり込んでお部屋を見せてもらうというワケにもいきませんし。でもその点、こういった会報誌ですと女性は特に「ここに私が住むとしたら、ここをこうして、このスペースにはお鍋をしまつて…」とか考えますものね。

西山 ええ、そこが狙いです(笑)。またタイトルとしての「くらす」に込めた思いは、このページ下に掲載されていますので、併せてご一読いただけると嬉しいですね。

——はい。さて、先日は今回掲載されているお宅の取材にも同行させていただいたのですが、齋藤工務店の建てた家は、玄関を入ったとたんに、木の香りに包まれる感じがしました。それも上質な本物の木の香り。もちろんここも御社の特長のひとつなのですよ。

西山 やはり気づかれましたか。あちらのお宅は築4年経っていますが、香りは薄れないですね。弊社では基本的に紀州産の木材を使っています。

——自然素材は経年変化も楽しめますし、まさに家も育っていく感覚ですね。

西山 そう、そこなんです。今は二世帯、三世帯住宅もありますが、やはり皆さんお子さんやお孫さんに家を残してあげたいという思いが強いようですので、そういった面でもきちんとした作りは大切だと思っています。

——ありがとうございます。そして施主様という関係を作る潤滑剤と言えは…。

西山 やはり営業の人柄が一番ですね。例えば弊社の榎谷宏典はこの道27年のベテランですが、お客様への気遣いはもちろん、一級建築士の資格も持っていて知識の豊富さでは群を抜いています。

——では榎谷さん、榎谷さんはいつもどんな思いでおお客様と接してらっしゃるのですか？



榎谷 そうですね、やはり誠実に、そして嘘をつかない、という点につきると思います。住宅の場合建てておしまい。ではなく、その後何年もお手入れや増改築などでお付き合いが続きまますので。そして家を建てるということにおい

ては、主人公はお客様、工務店は主人公を活かす映画監督のようなものだと私は考えています。

——確かにほとんどの方が人生で一番の買い物でしょうから、お付き合いも長くなりますね。

榎谷 はい。弊社の手がけた家でお客様が楽しんで生活する様子を拝見することで、自分の思いは間違っていなかったと感じますし、そこに営業としての喜びを感じますね。また、家を建てられる際には一営業マンだけではなく、他のスタッフや会社全体の雰囲気、そこが今まで建てた実際の家を総合的にご覧になって、工務店を選んでいただきたいと思います。

——ありがとうございます。榎谷さんのお人柄がうかがえる素敵なコメントでした。

次号では、ぜひ家を建てる職人さんにもスポットを当ててみたいと思います。西山さん、どうぞよろしくお願いたします。

西山 お手柔らかにお願いいたします(笑)。

年末年始、困ったときは… 年末年始に突然の水漏れや器具の故障が発生した場合は、下記にて対応します。

【緊急水漏れ時】

◎水道漏水：横須賀水道局 046-823-2125

【器具故障】

- ◎パーパスガス器具・住宅設備機器関連商品 ☎0120-260-884
- ◎ノーリツサービス ☎0120-911-026
- ◎リンナイお客様センター ☎0120-054-321
- ◎長府製作所夜間専用ダイヤル ☎0120-925-339
- ◎コロナサービスセンター ☎0120-919-302

齋藤工務店の年末年始休業：12月30日(日)～1月6日(日)



株式会社 齋藤工務店

〒238-0034 神奈川県横須賀市金谷2-2-1 TEL.046-852-3333(代) FAX.046-851-0034

URL www.saitou-koumuten.com Mail info@saitou-koumuten.com

タイトルの「くらす」は、生活するという意味であり、横須賀を中心とするエリアに暮らす人々がひとつにまとまるという意味を含めた、英語のClassの意味でもあります。またClassには上品という意味があり、この会報誌もその意味にふさわしいものでありたいと願う気持ちを込めています。



くらす a classy life in the town 第14号

発行日：2013年1月1日

発行：株式会社齋藤工務店

編集：株式会社はまかせ新聞社

デザイン：合資会社アイザックエレメント

巻頭撮影：藤江司人 (Isaac Element & Co.)